

事業所名

放課後等デイサービス マリン緑ヶ丘

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの安心・安全が第一優先</li> <li>・楽しく学ぶ療育支援</li> <li>・季節を大切に作る療育支援</li> <li>・切れ目のない療育支援</li> <li>・自己肯定感を積み重ね、ライフステージに合わせた自立支援</li> </ul>						
支援方針		人と人との関わりに安心や楽しみを感じながら、集団の場での役割や様々な活動への参加により経験を積み、子どもたちの可能性を最大限に引き出せるように支援します。						
営業時間（平日）		9 時	00 分	18 時	00 分	送迎実施の有無	あり	なし
営業時間（学校休校日）		10 時	00 分	19 時	00 分			
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時に保護者から健康状態の確認を行います。来所時の手洗いや検温等を児童のルーティン化として、日常生活の健康管理への意識を身に付けられるよう支援します。</li> <li>・衣服の管理等により、体温調整をする意識の習得や、体調の変化、不調等を感じた時に相談する意識を習得できるよう支援します。</li> <li>・荷物の管理や身辺自立を児童の判断で自発的に行えるよう、日頃から習慣を身に付けるための支援を行います。</li> <li>・基本的な生活スキルの習得や生活リズム、通う習慣(スケジュール管理)を意識して行えるよう支援します。</li> </ul>						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容に粗大運動・微細運動または、協調運動等の内容を取り入れ、運動能力の向上に努めます。</li> <li>・活動や学習等に取り組む上での姿勢保持を意識できるよう具体的な声掛け等による支援をします。</li> <li>・視覚、聴覚、触覚等の五感を十分に活用できるよう活動内容を工夫します。個々の感覚(特性)に合わせ、環境整備を行います。</li> <li>・発語等の個別課題として、言語訓練の支援を行います。</li> </ul>						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動時は、内容の説明を詳細に行い、一人一人が内容を認識し行動できているか確認します。必要に応じて再確認を行い、説明を把握して行動できるよう支援します。</li> <li>・集団生活の全体への声掛け等の場面で、状況を把握し、周りに合わせて行動できるよう支援します。他者との関わりを通して適切な判断力が身につくよう支援します。</li> <li>・自身で適切に行えた事に達成感を感じ、自己肯定感を高められるよう、成果を見える化した取り組みを行います。</li> <li>・認知機能の向上のため、活動や学習時間の教材を通して「覚える」「見つける」「想像する」等の能力を養い、ワーキングメモリ等の強化に努めます。</li> </ul>						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者と関わる際の適切な言葉遣いや関わり方を身に付けられるよう、必要に応じて声掛け等を行い、関わり方の成功体験を積めるよう支援します。</li> <li>・集団活動の中で人前での意志の伝達能力の向上を目指し、拳手や発表等の内容を行っていきます。人前で話す事が苦手な児童には、丁寧にサポートします。</li> <li>・他者と複数人で関わる機会を通して、集団の中での役割や立ち回りを経験し、円滑なコミュニケーションを取る事ができるよう支援します。</li> <li>・様々な活動に取り組む中で、色々な表現を経験する事で語彙力や表現力を向上できるよう努めます。</li> </ul>						
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人一人との信頼関係を築き、他者との関わりを安心して楽しみながら過ごせる環境を提供できるよう努めます。</li> <li>・集団生活をする中で必要なルールやマナーの意識を高められるよう支援します。また、様々な活動を通して、協調性や社会性を身に付けられるよう支援します。</li> <li>・集団活動を通して他者と関わる場面を増やせるよう努め、対人や協力する内容の活動を取り入れる事で集団での対応能力を育みます。</li> <li>・ソーシャルスキルトレーニングの内容を活動に取り入れ、園または学校等で円滑な関わりによる社会生活を送るためのスキルを身に付けられるよう努めます。</li> </ul>						
家族支援		定期的な面談に加え、相談内容がある時等の必要な状況に応じて、保護者との面談を行う機会を設けています。日頃から情報共有を詳細に行い、保護者から自宅等の様子も伺う事により一人一人に合わせた療育が行えるよう努めています。			移行支援		日頃から学校もしくは園、相談支援事業所等と連携を図れるよう努めます。状況に応じて、各機関と必要な情報共有を行ない、本人の成長に合わせた切れ目のない療育支援を行います。	
地域支援・地域連携		各関係機関との連携を図るため、必要に応じた情報共有等を行っていきます。地域や各機関との催し事等、地域に即した調整を行えるよう努めます。災害時等の際は、当施設で可能な限りの対応に努めます。			職員の質の向上		毎日の会議により全職員で当日の情報共有を行ない、振り返り等により質の向上に努めています。また、内部、外部研修や緊急時等の訓練により知識を高める事で、状況に応じた対応力を高めていきます。	
主な行事等		季節に合わせた行事ごととして、お正月のイベント、節分、ひな祭り、お花見、七夕、夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー等の活動を取り入れ、様々な文化に触れる機会を取り入れています。毎日異なる活動内容やお誕生日会等を取り入れ、色々な経験を積めるよう計画を立てています。						